

手順や方法論に関する豊富な資料を交えて!

日総研 14403

検索



身体拘束回避につながる 認知症の 正しいアセスメントと対応 原因疾患別の対応の根拠・予防策

参加者の声

- 拘束そのものにとらわれすぎて、患者さんの心身状態(認知の程度など)を十分にアセスメントできていないケースが多々あると感じ、改めてケアを見直していこうと感じた。
- 拘束についての機能評価を含めた話しがきけた。
- 拘束を廃止していくのに必要な認知のアセスメントを知ることができた。

大塚恒子氏

一般財団法人仁明会 精神衛生研究所 副所長
一般社団法人日本精神科看護協会 副会長
認定看護管理者

天理高等看護学校卒業後、公益財団法人天理よろづ相談所病院と兵庫医科大学病院を経て、1996年に財団法人仁明会病院の看護部長に就任。2010年11月から仁明会精神衛生研究所副所長、訪問看護ステーション所長、現在に至る。認知症ケアに関する多種の研修講師として全国で活躍。2016年発行の「認知症ケア加算の算定に必要な手順書(身体拘束を含む)」の作成に携わる。

仙台	18年9月2日(日)	10:00~16:00	ショーケー本館ビル
大阪	19年1月27日(日)	10:00~16:00	田村駒ビル
東京	19年2月23日(土)	10:00~16:00	日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

参加料 一般 18,500円 会員 15,500円
税込
※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

プログラム

1. 身体拘束を取り巻く現状

・診療報酬改定での身体拘束最小化取り組み規定
我々のミスケアが原因?

2. 事例で学ぶ!

認知症の原因疾患と時期を踏まえたケア

・認知症の認知機能障害(中核症状)/加齢によるもの生理的な違いは?
・アルツハイマー型/レビー小体型/脳血管性/前頭側頭型

3. 場面で理解する周辺症状(BPSD)の予防と軽減

・点滴やドレーンの抜去/服薬拒否/物盗られ妄想
無気力・抑うつ/睡眠障害/頻回に「トイレに行きたい」
「家に帰ります」/オムツをはずす など
・発症の過程と予防~記憶障害/見当識障害/実行機能障害の過程
・カンフータブルケア(大脳辺縁系への働きかけ)の有効性と実際
視線/言葉遣い/立ち位置と距離/話しかけ方/触れ方 など

4. 認知症と非認知症(生理的反応・せん妄)の理解と鑑別

・せん妄の定義・発生機序・原因・症状・分類・対応

5. 身体拘束の知識と技術・環境の調整

・身体拘束の必要性を適切にアセスメントする
(急性期/亜急性期/慢性期)
・身体拘束解除のための検討方法と判断

ホームページ 毎週更新 現場から生まれた専門性を磨く研修と教材

日総研

検索

認知症看護と看取りの実践・教育に!

臨床老年看護

隔月刊誌
(年ぎめ定期刊行物)
B5判 120頁
入会金 3,000円
年間購読料 16,765円
(共に税込)

7-8月号
特集

- 認定看護師による認知症看護の視点と実践
- 高齢者の皮下出血・スキンケアの予防とケア

臨床老年看護

検索

▶詳細はホームページで www.nissoken.com

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書 身体拘束回避につながる 認知症の 正しいアセスメントと対応 [14403]	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください ふりがな 氏名 (受取 確認者) 生年月日 西暦 19 年 月 日	送付住所 TEL() 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要 送付先 自宅 ・ 勤務先
	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード 役職・部署 勤務先名		
↓参加地区に✓印を [11] <input type="checkbox"/> 仙台 9/2 [12] <input type="checkbox"/> 大阪 19年 1/27 [13] <input type="checkbox"/> 東京 19年 2/23	ご連絡をお送りします。メールアドレス		

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル
※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy